

2008年6月19日

ホテル・レジャー施設を網羅した自社サイトが、新しい愛称とともに生まれ変わりました

『Web・モバイルサイト全般およびレストラン・宿泊予約システム』リニューアル

株式会社プリンスホテル(豊島区東池袋 取締役社長:渡辺 幸弘)は、国内外 58 カ所のホテル事業の他、スキーやゴルフ場 43 カ所、その他遊園地や水族館など、トータル 100 カ所以上(一部、グループ会社の運営も含む)でレジャー事業を展開しており、その中でさまざまなお客様の多様化するニーズに対応いたしております。

レジャーに関する、幅広い事業のさまざまな商品をひとつにまとめた、当社独自のユニークな Web サイト・モバイルサイトが、この度リニューアルいたしました。

今回のリニューアル項目

『宿泊』、『レストラン』、『チケット』などの予約システムを、お客様の操作性向上を一番に考えてリニューアルし、これまでより数段、予約しやすくなりました。

全体的にすっきりした見やすいデザインで、お客様のご要望に対し、ご提案という形で商品のレイアウトを施しています。

リニューアルした Web サイトに、『プリンス Smile ネット』の愛称をつけ、新たにスタート

今回のリニューアルを機に、自社 Web サイトに愛称をつけ、新たにスタートいたしました。この『プリンス Smile ネット』の「Smile」は、西武グループのスローガンでもある、『でかける人を、ほほえむ人へ。』の「ほほえむ」と合わせ、今回のシステムリニューアルに携わった、多くの女性社員の意見を中心に決定いたしました。

今後プリンスホテルでは、この新しい Web サイトを運営するにあたり、「お客様が、笑顔で親しみを持ってご利用いただけるホテル」を目指してまいります。

今後については、

外国語サイト(英語、北京語、広東語、韓国語)のリニューアル

カード会員に向けた Web 上での新たなサービスなど、随時展開していく予定です。

多様化するお客様のニーズにあったコンテンツ全般および利便性を重視した予約システムの構築

Web サイト

今回のリニューアルでは、お客様にとって『見やすい・分かりやすい・予約しやすい』を基本に、
魅力あるコンテンツ、シンプルで利便性を重視した予約システムに生まれ変わりました。

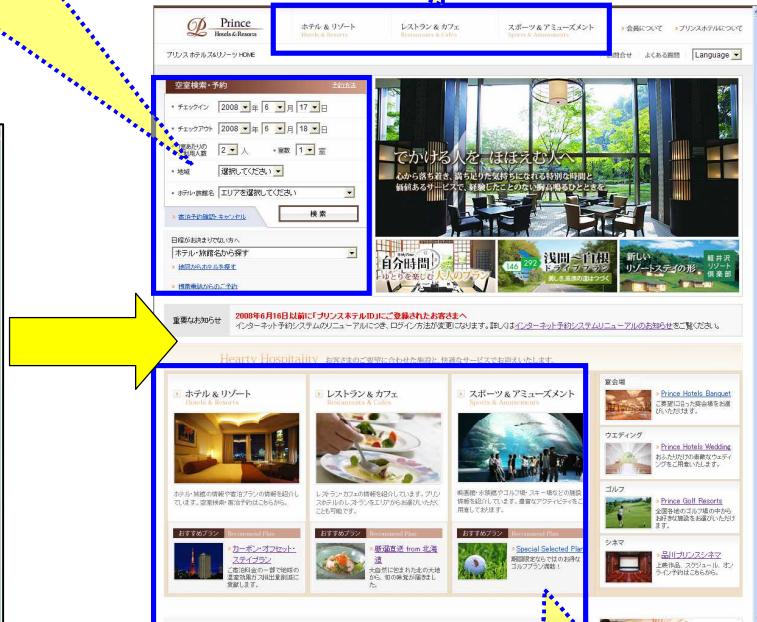
今後、生まれ変わった『Web サイト全般およびレストラン・宿泊予約システム』の利便性を、お客様に訴求していくことが、最終的に『プリンスファン拡大』に繋がる重要なポイントと考えております。

【 プリンスホテルズ＆リゾーツ トップページの大きな見直しポイント 】

【ポイント】予約に直結する検索ウィンドウを、トップページの先頭に配置し、日付や地域、ホテル名から検索が可能にしました。

【ポイント】当社としてお客様に強く約束できる、『泊まる』・『食べる』・『遊ぶ』の新たな3カテゴリーを、どのコンテンツにも同じ場所に表示、いつでもカテゴリーに合わせた商品検索を可能にしました。

リニューアル前の プリンスホテルズ＆リゾーツ トップページ



【ポイント】お客様のご要望に強く約束できる、『泊まる』・『食べる』・『遊ぶ』の新たな窓口を中央に分かりやすく設置しました。

【その他各事業所のページにも共通する、見直しポイント】

- ・幅広いお客様に対し、掲出内容を分かりやすく、見やすく伝えるため、画像を多く使用。
- ・幅広いお客様に対し、見やすさと操作性向上を目的に、各ホテルのコンテンツレイアウトを統一。

【事業所トップページの大きな見直しポイント】

【ポイント】ブランド別にホームページを色分け、またそれぞれのブランドステートメントを明記しました。



ザ・プリンス

グランドプリンスホテル

プリンスホテル

リニューアル前の事業所 トップページ

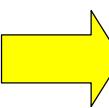


【ポイント】今回のリニューアルから予約に直結する検索ウィンドウを、トップページに配置、日付入力だけで検索が可能になりました。

【事業所の宿泊コンテンツの大きな見直しポイント】

【ポイント】泊まるための基本情報他、客室内の備品や備え付けのアメニティなど全アイテム明記、客室から望める景色や特徴を画像で表現、レイアウト画面も明記するなど、お客様の見やすさを重視し、ひとつの客室タイプで1ページを使いすべての情報を掲載するように変更しました。

リニューアル前の事業所の宿泊コンテンツ



利便性が向上した、Webサイトの予約システムの一連の流れ

プリンスホテルズ＆リゾーツ トップページから予約する場合

宿泊、レストランなど、ニーズに合わせた検索窓口を新たに設置、その中から、商品を検索。

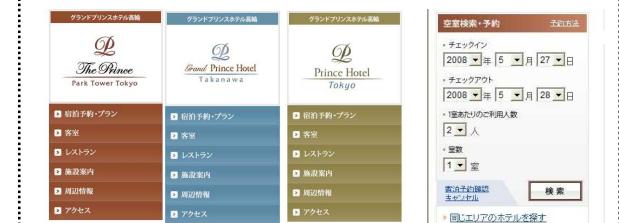


検索内容に該当する商品を扱っている、ホテル一覧が商品内容とともに列記。

今リニューアルから、該当する商品一覧を列記するようにしたとともに、各商品紹介にそれぞれ『空室検索・予約』の窓口を設置。この段階での予約操作も可能に。

事業所トップページから予約する場合

今リニューアルから新たに設置した、『空室検索・予約』やブランド別に色分けしたカテゴリー表示から商品を検索



検索の結果に該当する、プランの一覧が列記



予約画面から予約へ

モバイルサイト

現在、携帯電話はほとんどの国民が所有しており、さまざまなサイトの利便性も向上しており、Web サイト同様、一大市場として進化しております。

今回のリニューアルでは、このモバイルサイトからの『宿泊の直前予約の予約率向上』と『レストランの予約率向上』を目的に、即時性の高い、利便性全般を重視した予約システムを構築いたしました。

【ポイント】すべてのページが文字ベース紹介だったものを、お客様にイメージを訴求していく目的で各ページにレストランや客室の画像を掲載。

【その他、見直しポイント】

各ホテルトップページから宿泊・レストラン予約が可能に。

宿泊は、基本設定を変更するだけで予約可能なプランがすべて列記され、即時予約が可能に。

レストランは、希望内容を入力するだけで即時予約が可能に。

あわせて、朝・昼・夜の平均予算の表示やホテルへの要望、オプション対応などのカテゴリーも新たに追加し、すべてにおいて利便性が向上。

下記の各コンテンツについて、左側はリニューアル前、右側がリニューアル後のコンテンツになります

[トップページ](#)



エリア選択～ホテル一覧



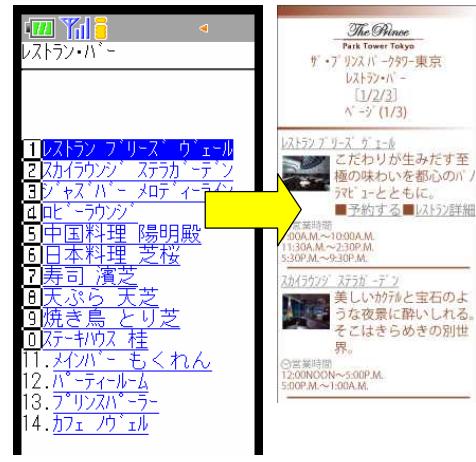
各ホテルトップページ



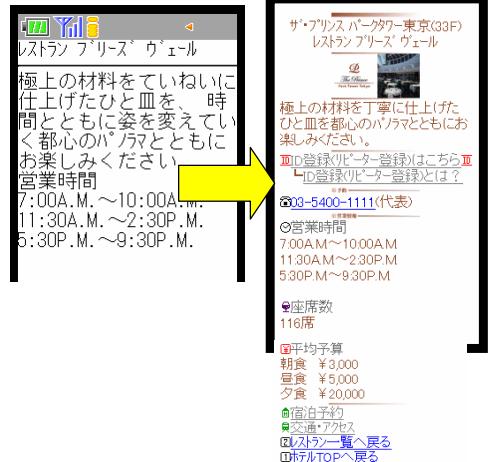
宿泊プラン詳細



ホテルレストラン一覧



レストラントップページ



利便性が向上した、モバイルサイトの予約システムの一連の流れ

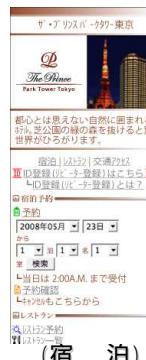
トップページから検索する予約項目(宿泊やレストラン、ゴルフなど)をクリック

エリア 選択したエリア内のホテルが列記

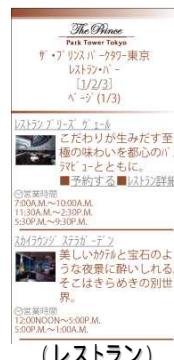
今リニューアルからイメージ訴求のため、
画像を掲載



『ホテル情報』または『レストラン情報』をクリックし、
該当ホテルの各情報ページへ



(宿泊)



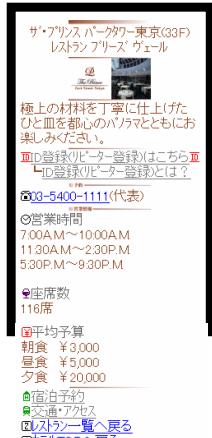
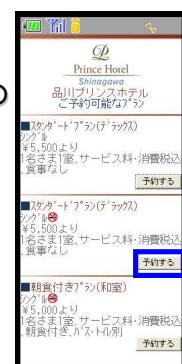
(レストラン)

「宿泊」

検索条件を記入後、今リニューアルから該当する宿泊プラン一覧を
列記するようにしたと同時に、『予約する』窓口を設置し、この段階での
予約操作が可能に。

「レストラン」

『予約する』で、『予約条件の確認』ページにて必要情報を記入
(名前、予約日、人数、席の希望、生年月日など)
『レストラン詳細』では、営業時間はじめ席数表示の他、
今リニューアルから平均予算を新たに追記



レストランの『予約条件の確認』については、今リニューアルから、CS向上を目的に必要情報の他、
『ホテルへの要望』や『オプション選択』などの項目を新たに追加

予約画面から予約へ